

## 平成19年度 西加瀬こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	西加瀬こども文化センターの管理運営に関すること 苅宿小学校・木月小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	運営協議会・子ども会議の充実した実施に伴い、地域のニーズを把握するとともに、利用団体協議会・町内会学校等の会議、懇談会に参加し、地域住民の意見、要望等を把握しました。また、毎月のセンター便りの発行、ポスターの掲示、ホームページの活用などで、こども文化センターの運営内容を地域住民に周知し、行事の参加、センターの利用を呼びかけました。利用者のニーズを把握するため、意見箱を設置しました。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の設置による意見集約を行ったことは、評価できる。
サービスの提供に関すること	こども会議の内容を踏まえ、誰もが楽しく参加できるよう、行事内容を職員会議で協議し、仲間作りや社会性を図るため、お茶会、ミニホッケー、将棋道場などの活動を実施しました。子育てサークル、成人団体等の利用については、利用団体協議会の協議内容を反映させました。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、1つのクラブ活動を実施し、事業の充実に努めていた。

事業の実施に関する こと	運営協議会、利用団体協議会との連携により「こどもまつり」「スポーツ大会」を実施しました。小・中学生のボランティアの活動などで、昨年より多い300人以上の地域住民の参加があった。また、子育て支援事業として、乳幼児用フリースペースを設置し居場所づくりを進めました。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。また、乳幼児の居場所づくりに努めていた。今後も、ボランティアの活用を努めること。
個人情報の取扱に関する こと	「個人情報の取り扱い」について受付に提示し、職員会議にて研修を行いました。入館状況調査表、パソコン利用申請書、行事申し込み書、アスクル申し込み書等の書類提出の際、文面及び口頭で情報収集の目的や使用状況を説明しました。また、全て鍵のかかるロッカーや机などに保管しました。不要になった個人情報はシュレッダーで処分しました。パソコンはパスワードを設定し、館長、職員の管理下におきました。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	施設内外の遊具の点検、備品及び施設整備の安全面の充実を図りました。施設整備においては、ボランティアと共に壁のペンキ塗り、床の修理などを行いました。館内外の清掃は、日常的にきちんと職員が行いました。安全を確保するためにボランティアを活用して人員確保に努めました。不審者対策の研修、防災訓練も行いました。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、苧宿小学校・木月小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 24,602人 延べ団体利用数 3,421団体 (主な行事等) パソコン おたのしみ会  (特色のある行事) 昔遊びウィーク	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 苧宿小学校わくわくプラザ 登録者数 174人 延べ利用者数 8,142人 (主な行事等) けん玉認定会 ゲームラリー  (特色のある行事) お茶の会  2 木月小学校わくわくプラザ 登録者数 168人 延べ利用者数 9,745人 (主な行事等) けん玉認定会 木月小フェスティバル  (特色のある行事) お茶に親しむ	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																																	
(3) 収支状況																																			
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>42,888,208</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>31,737,818</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,864,824</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回精算に伴う返納金</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>42,562,476</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>325,732</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	42,888,208	支出	人件費	31,737,818		管理費	2,864,824		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		第2回精算に伴う返納金	3,000,000		合計	42,562,476		差引	325,732	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	42,888,208																																	
支出	人件費	31,737,818																																	
	管理費	2,864,824																																	
	事務経費	1,937,847																																	
	その他経費	1,436,042																																	
	青少年事業資産取得支出	909,090																																	
	減価償却引当資産取得支出	40,492																																	
	第1回精算に伴う返納金	636,363																																	
	第2回精算に伴う返納金	3,000,000																																	
	合計	42,562,476																																	
	差引	325,732																																	

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者として子ども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとの子ども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他の子ども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。